

コンクリートの技術基準に関する情報活用手法研究委員会(JCI-TC-133A)

第1回本委員会 議事録

日時：2013年8月5日(月) 15:00～16:50

場所：公益社団法人 日本コンクリート工学会 第3会議室

出席者(敬称略)

棚野委員長、濱崎幹事、古賀幹事、上野、鹿毛、野上、小山、谷口、中村、西尾、広瀬、渡邊、松下、小林、田中、永元
(事務局)渡部

配布資料

- 本-1-1 JCI 研究委員会資料 (2013 年度新規専門委員会)
- 本-1-2 委員名簿
- 本-1-3 WG1 活動計画案
- 本-1-4 WG2 検討方針(案)
- 本-1-5 コンクリートに関連する品質基準・試験方法の解釈研究委員会報告書目次

議事

1. 委員自己紹介

各委員より自己紹介がなされた。

2. 委員会趣旨説明

棚野委員長より、配布資料 本-1-1 に基づき、本研究委員会設置の活動期間、趣旨・目的および活動計画等について以下の説明があった。

- ・活動期間は2年間とする。
- ・平成 21～22 年度に実施した「コンクリートに関連する品質基準・試験方法の解釈研究委員会」では対象外とした JIS や国際規格の調査やこれらを活用している仕様書における規定内容との関連性を整理する。
- ・コンクリートの技術基準に関する情報活用手法の構築について検討する。
- ・WG の設置

WG1: コンクリート関連 JIS 等の品質基準・試験方法の歴史的背景と相互の関連性を整理。

WG2: コンクリートおよび RC 構造物に関する仕様書類の制定・改定経緯を調査、JIS 等の引用・規定内容の考え方を総合的に整理。

共通: 成果の活用手法として、その枠組みとひな形を提案。

3. 「コンクリートに関連する品質基準・試験方法の解釈研究委員会」について

鹿毛委員より、配布資料 本-1-5 に基づき、「コンクリートに関連する品質基準・試験方法の解釈研究委員会」について、概要説明があった。

- ・配布資料 本-1-1 の表記委員会の実施時期を「平成 21～22 年度」に修正。

- ・ JIS A 5308 をベースにして行った。
- ・ 制定・改正の経緯や理由および変遷について調査した。

また、上野委員より表記委員会の報告書について、以下のことが記載してあるとの報告があった。

- ・ JIS 解説に記載があるもの。
- ・ 規格の変遷について。
- ・ 規定の基になっている論文等の情報。
- ・ 規格値の制定理由について。

4. 各 WG の活動計画について

濱崎幹事より、配布資料 本-1-3 に基づき WG1 に関し、古賀幹事より、配布資料 本-1-4 に基づき WG2 に関し、各 WG の目的、内容およびスケジュールについて説明があった。

また、各 WG の構成について、棚野委員長より提案があり、これを承認した。

【WG1】

検討内容：

- ・「コンクリートに関連する品質基準・試験方法の解釈研究委員会」での検討事項について継続的な調査を行う。
- ・ JIS 以外の土木/建築分の各学協会、事業者等で提案・運用している試験方法について整理を行う。
- ・ 上記 JIS 以外の試験規格についても制定・改正の経緯等について調査を行う。
- ・ 将来的な JIS 化等に関する提案、法令や仕様書等での使われ方に関する提案を行う。
- ・ 情報活用の観点からビッグデータ・オープンデータの活用について調査を行う。

幹事：濱崎、上野

委員：瀬古、中村、岡崎、渡邊、小林

【WG2】

検討内容：

- ・ 各規定や仕様書における規制値の違いやその理由等を調査する。
- ・ 各規定や仕様書における規制の考え方の違いやその理由等を調査する。

幹事：古賀、鹿毛

委員：野上、小山、谷口、西尾、広瀬、有木、松下、田中、永元

5. 次回委員会について

次回委員会については、改めてメールにより日程調整を行うこととした。

以上